

達成状況評価書(平成25年度)

部局名:連合小児発達学研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、千葉大学、福井大学の参加により新たな演習を2科目加えた計12科目を開講し、演習内容を充実させるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、カナダ・トロント大学等との国際共同研究を実施するなど積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>また、社会性発達の客観的評価補助装置GazeFinderを用いた発達障害早期気づき支援のための実証研究を佐賀市、大阪府、名古屋学芸大学等で開始し、特に佐賀市では1歳6か月健診の現場に導入し、200名を超える乳幼児のデータを取得し、実証研究の中間報告会を開催するなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、大阪府の発達障がい施策の一部として、保健師研修のコーディネート（講師の選定から研修内容の企画・立案まで全て）を請け負い、169名の府内保健師を動員した。また発達障害専門医師研修の企画・立案にも参加し、2名の教員が講師として貢献した。さらに、堺市における発達相談事業では平成25年度は来談者数が約1.2倍になり、活動が高く評価され、平成26年度は堺市からの発達障害児支援研究に係る受託研究の受入金額が約3倍に増額することになるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 18~30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、自己点検・評価を実施し、さらに次年度以降は、目標の設定やそれに対する達成度を客観的に点検し評価をしやすいなどして自己点検・評価の方法自体を見直すことを決定するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成25年度は、カナダ・トロント大学等と国際共同研究を実施するほか、大阪府の発達障がい事業、堺市の発達相談事業など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>